

配布対象を  
拡大します

## 救急情報キット

# エルフィンボタン

エルフィンボタンは、持病や飲んでいる薬の内容、家族の緊急連絡先などを記載した情報カードを入れて、冷蔵庫で保管するケースです。緊急時に本人が話をできない状況でも、救急隊などが情報カードを確認し病院や家族に必要な情報を伝えます。

これまで、65歳以上の方だけの世帯が配布の対象でしたが、2月3日から障がい者なども対象になります。



### ◆対象 次のいずれかに該当する方

- ① 1人暮らしで65歳以上の方か、65歳以上の方だけの世帯
- ② 次のいずれかに該当する方で配布を希望する方 (①に該当する方を除く)

A 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを持っている

B 特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当のいずれかを受給している

C 障がい福祉サービス等、自立支援医療、特定疾患医療のいずれかの受給者証を持っている

### ◆配布方法

#### 対象①の方

地域支え合いセンターから対象となる方へ個別に連絡し、市職員が訪問して無料で配布します。

また、右の配布場所で受け取ることもできます。

#### 対象②の方

希望する方に、右の配布場所でお渡しします。

\*地域支え合いセンターでの受け取りを希望される場合は、どちらの場合もセンターへ事前連絡が必要です。

\*自治会・町内会で同様のものが配布されているか、これから配布される場合は、そちらを利用してください。



### ◆配布場所

名称	場所・電話
地域支え合いセンター	白樺町1丁目7-2・☎378-4277
障がい者生活支援センター みらい	北進町1丁目5-2福祉センター 1階・☎376-7776
障がい者就労支援センター めーでる	美沢3丁目13-2正栄ビル1階・ ☎372-5525

\*高齢者支援課、福祉課、各出張所でも配布しています。

### ◆使い方

#### ①情報カードに記入します

身体状況や通院先、緊急連絡先などを項目に従って書いてください。

#### ②情報カードをエルフィンボタンに入れます

情報カードのほか、健康保険証や診察券の写し、服用薬の説明書、本人の写真なども一緒に入れると、より役立ちます。

#### ③冷蔵庫に入れます

駆け付けた人がすぐに発見できるように、台所にある冷蔵庫に保管しましょう。

#### ④マークシールを、冷蔵庫の扉の外側と、玄関扉の内側に貼ります

## エルフィンボタンが命綱に

救急隊は現場に到着すると、玄関扉の内側にエルフィンボタンのシールがあるかどうかを確認します。

脳梗塞などでろれつが回らない場合でも、情報カードで必要な情報を得て医療機関に伝えることができます。

昨年、役立つ例は8件。緊急時には大変有効です。ぜひ利用してください。



消防署救急指令課  
主任 森川達彦

## ⚠️「情報カード」について

●身体状況や通院先などが変わったら、その都度新しい情報に書き換えましょう。カードは配布場所で随時お渡ししています

●市のホームページ「くらしの情報→福祉・介護→救急情報キット・エルフィンボタンを配布します」から印刷することもできます

